

第6回京田辺市史編さん委員会（会議録要旨）

日 時：令和4年10月25日（火） 9時～9時40分

場 所：京田辺市中央公民館 会議室

出席者：〈委 員〉大富委員長、井上副委員長、菱田委員（※）、小林委員（※）、東委員（※）、岸委員（※）、上杉委員（※）、林委員（※）、上村委員（※）、北村委員、藤本委員

※…遠隔での参加

〈事務局〉藤井副部長、坂本室長、大屋担当係長、松本主任、

阪東会計年度任用職員

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

1) 令和3年度の事業実績について【事務局から説明】

(特に発言はなし)

2) 令和4年度の事業について【事務局から説明】

(特に発言はなし)

3) 今年度の刊行巻について【事務局及び小林委員から説明】

・入札の結果、印刷業者は河北印刷となった。現在、2校目のやり取りをしているところ。体裁については本年度のものを次年度以降に踏襲することとなるので留意して欲しい。また、各巻表紙は航空写真となるが、表紙写真の解説を民俗・地理部会の上杉委員に執筆いただく予定としている。なお、従前の執筆要項ではフォントサイズは11ポイントとしていたが、組版を業者と協議する中で、11ポイントでは字間が苦しくなり、特に割り注などにより2行書きになる箇所などは非常に読みにくくなるため、解説等の本文部分を10.5ポイント、翻刻資料部分については10ポイントで作成している。次年度以降も同様となる予定なのでご承知おきいただきたい（市史編さん室）

・本巻は3部構成となっており、各部とも冒頭に資料の解説を置いて、その後資料が掲載される構成となる。掲載する資料としては、市や歴彩館が所蔵している行政文書や、共有文書を含む地方文書などが中心。ただ、資料選定に当たっては、『田辺町近世近代資料集』刊行時に比べ、同資料集関連の文書が多く散逸しており、原本が確認できないため、重要性が認められるが掲載を断念した資料も多くある。また、今回の資料編は戦後部分が多くの割合を

占める。戦後 70 年を経過した現在、重要である資料を掲載するもの（小林委員）

・みせ消し部分などについては市民の方がぱっと見わからないと考えるが、凡例で説明があるのか。また、他巻の凡例と共通のものとなるのか（井上副委員長）

・判読不能文字や個人情報の伏せ字などと併せて凡例に掲載する予定。なお、他巻との共通のものかについては、根本部分は同じである方が望ましいとは考えているが、各巻によって記載するべき事項は異なると考えるので、個別具体的に判断していきたい（市史編さん室）

4) 今後の刊行予定巻について【事務局から説明】

・これまで民俗・地理部会として活動し、民俗・地理編として刊行を準備していたが、地理・民俗編として刊行したいと考えている。民俗分野も地理分野もヒアリング調査が重要な位置を占めるが、コロナ禍によりヒアリングが充分にできていないのが現状であり、その辺りは忸怩たる思いがある。特に民俗分野の先生からその辺りに憂慮する声があり、民俗・地理という言い方より、地理・民俗とする方が刊行巻に即しているとの声が部会内で挙がり、巻名を変更する方向となった（上杉委員）

・議題とは少し逸れるが、今後 1 年に 2 冊刊行する場合に刊行時期はどうなるのか。市民の経済負担を考えると刊行時期をずらすべきと考える。（井上副委員長）

・まず、作業工程としては 2 巻の場合でも 1 巻と同様であり、完成は両巻とも 2 月 3 月頃となり、市民の手に渡るのは 4 月から 5 月頃となる。刊行時期をずらすとなれば、片方の巻の発売を遅らせる形となると考えるが、その辺りについては編さん室で検討したい（市史編さん室）

4. その他

1) 市史編さん事業の情報発信について【事務局から説明】

・コロナが落ち着いたら各地区の公民館などで積極的に講座等を行って欲しい（井上副委員長）

・11 月に三山木小学校で府立大が講座を行う。市史編さんを開始する際に結んだ協定が、包括連携協定となり、市民参画課と協力して準備を進めているもの。市史編さん委員会委員をはじめとした市史に関係している教員が、市史の成果を使って講義をすることとなるので、市史編さんの事業の一環として位置づけていただきたい（上杉委員）

・同事業については認識をしており、寺社への説明などは市民参画課と協同して行うなど、補助的ではあるが連携しているところ。市史編さん事業の一環と認識しているので、次年度には本年度の成果として報告する（市史編さん室）

・市民参画課と市史編さん室は同じ市民部であり、連携しやすい状況（大富委員長）

・小学生への講義は難しい部分もあるかと思うが、受ける側はもちろん、講義をする側にもいい経験になる素晴らしい事業だと考へるので、引き続き実施して欲しい（井上副委員長）

6. 閉会

- ・他に意見がないようなので、これで終了する（大富委員長）